

平成23年8月

北九州港港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、北九州港長期構想（平成23年5月策定）において示された4つの将来像、「ものづくり産業を支える物流基盤としての港」・「災害に強く、いつも安全で、市民生活や企業活動を支える港」・「環境首都(環境モデル都市)にふさわしい港」・「多くの人が憩い・賑わう港」の実現に向け、同港の港湾計画の改訂を行うこととしていること、および今回の北九州港港湾計画改訂は、主に響灘地区、奥洞海地区、新門司地区などにおける港湾施設を計画しているものである等から、調査検討に当たっては、計画の概要、対象海域の航行環境などを調査した上で、主として新規計画の岸壁や泊地等の形状と同海域利用船舶の入出港操船の関係に着目して船舶航行安全上の課題を抽出・検討し、計画の一部修正の提言を含めて必要な航行安全対策を取りまとめた。

なお、新門司地区における計画については、北九州空港の北側進入表面と通航船舶のマスト高の関係についても確認した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 港湾計画改訂の概要
- (3) 航行環境
- (4) 航行安全検討対象の整理と検討課題
- (5) 安全性の検討
- (6) 航行安全対策の検討